

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	
施設名	にじいろ保育園南水元
施設所在地	東京都葛飾区南水元1-12-6
法人名	ライクキッズ株式会社

1. 活動のテーマ

<テーマ>

リトミック

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

本園では、日常の遊びや朝の会の中で、音楽が流れると自然に体を動かしたり、歌やリズムに合わせて歩いたりする子どもの姿が多く見られる。また、強い音や速い音に反応したり、友だちの動きを真似することを楽しむ様子から、音やリズムへの高い興味関心が育っていると感じている。こうした園の環境や子どもの姿を生かし、正解のない動きを自分なりに表現しながら、音を聴いて感じ、体で表す過程に夢中になれるテーマとして「リトミック」を設定した。

2. 活動スケジュール

R7.5-R8.3月

- ・ピアノの音に合わせて体をうごかす。表情・リズム・動作の連携を楽しむ。音符の長さを知り、表現をする。
- ・雨・カタツムリ等季節の音楽に合わせて体を動かす。即時反応を楽しむ。マラカス・タンバリンを使って即興リズムを作る。
- ・夏の自然や行事に親しみ、音楽で表現する。スカーフを波に見立て大波・小波の表現をする。ペアになり楽器を使って表現を楽しむ。
- ・夏のにぎわいや自然、涼しさを感じる体験を音楽を通して、体で表現を楽しむ。楽器を使い音楽に合わせてリズムを身体で感じる。
- ・虫や自然、行事などをテーマに音やリズムで表現したり自由に身体を動かす。想像力が育つように楽器でも表現する。
- ・「みのりのあき」「どうぶつ」「おいもほり」「ハロウィン」等秋の自然や行事に親しみ、音に反応して表現する。
- ・クリスマスにまつわるストーリーやイメージを広げて表現する。楽器を使いリズムを打つ。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

【準備物】電子ピアノ、ウッドブロック等

【環境設定】子どもが走る・止まる・跳ぶなど全身を使って表現できるよう、十分な広さを確保。ウッドブロック、タンバリン、鈴など、さまざまな音が出る楽器を用意し、音の違いを感じられるようにする。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

リズムやテンポを意識した身体の動きを取り入れながら、仲間と一緒に活動する楽しさを感じ、簡単な表現活動にも積極的に挑戦していく。また、楽器に親しむ機会を設け、音やリズムに触れる経験を深めるとともに、友だちと協調しながら表現する力を育む。さらに、動物をテーマにしたリズムあそびを通して想像力を広げ、最終的にはみんなの前で発表することで、自信を持って表現する力を養う。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

乳児クラス：お名前呼びをピアノのリズムに合わせて行う。元気よく「はーい！」と手をあげながら行っている。スカーフで「いないいないばあっ！」を楽しむ様子。

花がさくところでは、スカーフを花に見立てて両手で持ち、開いたり閉じたりをリズムに合わせて行う。「おはなだね」と喜ぶ姿が見れた。

幼児クラス：動物のお散歩、リズムパターンを聞き動く。ピアノの音の高低を聞き表現する。3.4拍子の違いを感じ取る。「3拍子だ」と言って指揮をする子どもの様子が見れた。スカーフを使って花を表現する時は、子ども自身が考えて花の形を作る。「みて！きれいなおはながさいた」と友だち同士見せ合う。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

乳児クラスでは、保護者と一緒にスカーフを使ってゆったり揺れる活動に対して、子どもたちが穏やかに反応していた。ピアノのテンポ変化に対して、速くなると表情が明るくなる場面が多く見られ、音への感受性が育っていることを実感した。スカーフを使った「はな」の表現では、初めはどうやるんだろう？と不安そうな表情をしている子どももいたが、繰り返し行くと楽しくなりびのびと動けるようになった。花がさく時が楽しく「キャー」と言いながら行っている姿が印象的だった。幼児クラスでは、動物ごとのリズムパターンを繰り返すうちに「次はなんだろう」と考えながら行い、イメージと動作がつながってきた様子が見られました。子どもたちが音楽を「聴く」だけでなく、身体全体で「感じて動く」経験が積み重なってきていることを実感しました。